

事業報告

令和3年度 県・市町村社会教育委員研修

日時：令和3年6月18日（金）14：00～15：50

会場：大分県立図書館 視聴覚ホール 参加者：44名

<研修趣旨>

県及び市町村の社会教育委員が、その職務と社会教育の現状及び課題を確認・把握し、コロナ禍での社会教育行政の在り方について考えることをとおして、果たすべき役割と意義について理解を深め、活動の自主的な展開と活性化を図る。

<研修内容>



【開会行事】開会あいさつ
大分県立図書館 館長 宮迫 敏郎



【研修】講義：「3密を避けて社会教育は生き続けられるか」
講師：独立行政法人教職員支援機構
つくば中央研修センター長 清國 祐二 氏

【研修】講義：「3密を避けて社会教育は生き続けられるか」
講師：独立行政法人教職員支援機構
つくば中央研修センター長 清國 祐二 氏

コロナ禍における社会教育委員の職務と社会教育・生涯学習の現状、職務遂行における ICT 機器を活用した学習会等について講義。

<参加者感想>

- 分からないから「やらない」ではなく、できる範囲から「やってみる（チャレンジする）」ことの大切さを改めて感じた。自ら学ぶ力・自律性が求められているのだと感じた。
- 「ICTを味方につけて」とのワードで元気づけられた。ICTを使用することでも、つながりを大切にすることができると感じた。
- 社会教育委員として、今後の活動をするにあたって、多くのヒントをいただいた。自分を見つめ直す、よいきっかけになった。
- 全てオンラインでもよかったのではないかな。オンラインを標準、接続等の自信がない人が会場でもよかったのではないかな。：可能な環境及びスキルがある参加者がいるのも事実。
- 総会・表彰後に解散でも良かったのではないかな。：変更連絡不行届きが原因か。
- Zoom での講演や研修等の実施形態になじめない（聞き取りにくい、疲れる、理解しづらい、長く感じる）。対面の方がよい、効果的。